

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年9月

(平成19年8月末調査)

平成19年9月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【7月】	諏訪公共職業安定所管内	1.35倍	+0.14ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.62倍	+0.21ポイント	
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	11,626枚	△1,275枚	
	金 額	15,319百万円	△136百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	45枚	+45枚
		金 額	14百万円	+14百万円
車庫証明取扱件数【8月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		961件	△12.1%	
新設住宅着工件数【19年4月～7月】(諏訪所管内)		639戸	△241戸	

地域の概況

●製造業

自動車部品の受注状況は、引き続き高水準の企業がみられ総体では堅調な受注が続いているが、部品によっては減少した企業も多くみられる。工作機械は、自動車やOA機器部品などの加工機械は高水準の生産を続けているが、汎用機械の動きは低調となっている。専用機は、一部に受注増加の動きがみられるが、大型案件の発注は依然として動きが弱くなっている。医療機器、デジタル一眼レフカメラの鏡枠などの受注は高水準となっている。電気機械、金属加工などの小規模企業の受注は低迷している。

地域製造業の生産状況は、自動車メーカーの夏季休暇の影響もあり前月比の稼働率は幾分低下した。素材価格は高止りしているが受注単価の見直しが無く、下請企業の収益性は厳しい状況が続いており、業況に回復感は見られない。

地域製造業の業況は、今後に期待感がみられるものの当面弱含みとなっている。

●商業

諏訪地方の8月の天候は、記録的高温、多照、記録的少雨となった。梅雨前線や台風の影響から低温であった7月から一転し猛暑となったことから、夏物の実用衣料や飲料水などの売れ行きは好調であった。

衣料品は、ファッション性のある夏物衣料や初秋の衣料は低調であったが、水着などの夏物衣料品や浴衣の売れ行きは前年を上回った。食料品では飲料水や蕎麦やそうめんなどの夏物食品が伸び、ホームセンターでは花火やバーベキュー用品などのレジャー用品の動きが良かった。

●観光業

夏の観光シーズンを迎え、天候にも恵まれたことから各観光地や夏祭りは例年以上の入り込み客で賑わいをみせた。

諏訪湖畔で行われた第59回諏訪湖祭湖上花火大会は49万人(主催者発表)の人出があり、高原の各観光地も避暑に訪れる入り込み客は例年を上回った。このようなことから、諏訪地域の多くのホテル・旅館の宿泊客数は、豪雨災害の風評被害のあった昨年を上回った。

上諏訪温泉の宿泊客数は、8月15日の花火大会を軸に、連日花火を打ち上げる「サマーナイトファイヤーフェスティバル」が好評であり、豪雨災害の風評被害のあった昨年に比べ宿泊客数は20%程度増加したところが多い。

蓼科・白樺湖・車山方面は、天候に恵まれお盆明けも入り込み客が落ちず、宿泊客数は前年を上回っている。

諏訪大社(上社・下社)の8月の参拝者数は86千人で、前年同月比28千人の増加となっている。団体バスの参拝客が目立っているが、週末には個人客の参拝も増加している。

●建設業

市町村の8月の発注工事は、74件642百万円で前年同月比320百万円の減少となっている。県の8月の地元業者への発注工事は14件599百万円で、平成19年4月～8月の累計契約額3,141百万円と前年同期累計比では2,160百万円の増加となっている。

民間工事は、7月の新設住宅着工件数は135戸で前年同月比では12戸増加している。

●雇用

7月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.35倍、岡谷公共職業安定所1.62倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.45倍と全国(1.07倍)及び長野県(1.16倍)を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた7月の新規求人(全数)は1,643人で前月比76人増加、前年同月比353人増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降46ヶ月連続して1倍を上回っている。

業界別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注状況は企業により増加、減少区々であるが、幾分減少傾向のところが多い。
コンデンサー	自動車用コンデンサーの受注は安定している。
プリンター	大型プリンターの生産は堅調に推移しており、特殊小型プリンターの部品受注が増加したところもみられるが、総じてはアッセンブリーや部品加工などの下請企業の受注は減少傾向となっている。
コンダクター・リレー	受注は安定しており、幾分増加傾向である。

2. 輸送用機械

自動車	自動車部品関連企業の受注は総体では安定しているが、メーカーの夏季休暇の影響から減少したところや部品により減少したものもあり、企業により増加減少区々となっている。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続けており、下請企業の受注も高水準となっている。
船外機	下請企業の受注は高水準で安定しており、今後の見通しも明るい。

3. 一般機械

工作機械	自動車関連の加工機は引続き堅調な生産を続けているが、総体の受注動向は幾分弱含みとなっている。
専用機・省力機器	企業により受注状況は増加、減少区々であるが、総じては幾分弱含みの状況である。
搬送用機械	ハイテク関連で幾分弱含みとなっているが、食品関連や物流関連などの受注は今後の増加が見込まれる。
金型	医療機器や自動車関連の受注は堅調で一部では受注引き合いが増えてきているが、総体では幾分弱含みの状況となっている。
アルミダイキャスト	一部に高水準の受注状況の企業が見られるが、減少したとする企業も多く、総じては弱含みとなっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの7月の生産台数は720万台で、前月比4.5%減少、前年同月比34.5%増加となっている。7月の出荷台数は国内出荷82万台、海外出荷645万台で、出荷台数全体では前月比3.8%減少、
---------	---

前年同月比 34.7%増加となっている。(カメラ映像機器工業会)
下請企業の受注は親会社により区々であるが、デジタル一眼レフ関連で繁忙のところがみられる。
プロジェクター
レンズ
海外生産が主体となっており、下請企業の受注は減少している。
ガラスレンズの生産拠点は海外が主体となっており、国内の生産規模は減少している。

5. 織 維

ニット
8月の猛暑により専門店の初秋物の動きが弱く、受注状況は幾分弱含みで、受注時期も遅れ気味になっている。

6. 食 品

寒天
業務用の出荷は安定しており、季節的な変動はあるものの年間を通じ荷が動くようになってきている。
味噌
出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の7月の木造住宅着工件数は109戸で、前年同月比24戸増加した。国内需要の低迷から、高値圏ではあるが建材及び木材は幾分値下がりしている。

8. 建 設

公共工事
8月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所8件、林道治山工事関係4件、その他2件の合計14件、契約金額599百万円となっており、平成19年4月～8月の累計契約額は3,141百万円と前年同期累計比では2,160百万円の増加となっている。市町村の8月の発注工事は、建築工事10件42百万円、土木工事・下水道工事51件376百万円、その他工事13件223百万円の合計74件642百万円で前年同月比では320百万円の減少となっている。
民間工事
諏訪地方の7月の新設住宅着工件数は135戸で、前年同月比12戸増加している。個人住宅等の小口工事で価格競争が激しく、受注単価は下落傾向である。

9. 商 業

諏訪地方の8月の天候は、記録的高温、多照、記録的少雨となった。梅雨前線や台風の影
響から低温であった7月から一転し猛暑となったことから、夏物の実用衣料や飲料水などの
売れ行きは好調であった。

衣料	猛暑の影響から、水着などの夏物衣料品の売れ行きが好調であり、夏 祭り用の浴衣の売れ行きも前年を上回った。
食料品	飲料水やスイカ、蕎麦やそうめん類など盛夏物の売れ行きは前年を上 回った。
家電製品	引続き薄型テレビの動きは好調であり、猛暑の影響からエアコンの売 れ行きも持ち直した。
自動車	諏訪地方の8月の車庫証明件数（軽自動車除く）は961台で、前年同 月比△133台（△12.1%）となった。また、軽自動車の販売台数は279 台で前月比△78台（△21.8%）となった。
ホームセンター	バーベキュー用品や花火などのレジャー用品は前年を上回り、お盆の 関連商品の売れ行きも好調であった。
デパート	婦人服や婦人用品の売れ行きが好調であった。

10. 観 光

夏の観光シーズンを迎え、天候にも恵まれたことから各観光地や夏祭りは例年以上の入
り込み客で賑わいをみせた。

諏訪湖畔で行われた第59回諏訪湖祭湖上花火大会は49万人（主催者発表）の人出があ
り、高原の各観光地も避暑に訪れる入り込み客は例年を上回った。

このようなことから、諏訪地域の多くのホテル・旅館の宿泊客数は、豪雨災害の風評被
害のあった昨年を上回った。

上諏訪温泉	8月15日の花火大会を軸に、連日花火を打ち上げる「サマーナイトフ ァイヤーフェスティバル」が好評であり、豪雨災害の風評被害のあっ た昨年に比べ宿泊客数は20%程度増加したところが多い。
蓼科・白樺湖・車山	天候に恵まれお盆明けも入り込み客が落ちず、宿泊客数は前年を上回 っている。
下諏訪温泉	宿泊客数は、多くのホテル・旅館で前年同月を上回った。
諏訪大社	上社、下社合わせた参拝客数は86千人で、前年同月比28千人の増加 となっている。団体バスの参拝客が目立っているが、週末には個人客 の参拝も増加している。